

RING OUT, KAMUONI!

KAMURO
MUSIC FEST.
神
KAMU'ON
神國音楽祭

October

10

2025

No.754

広報かねやま

KANEYAMA

健康維持のためには1日8,000歩を歩くことが推奨されており、金山町では5月2日から「かねやまステップジャンボ事業」をスタートしました。「かねやまステップジャンボ事業」は宝くじのような仕組みで景品がもらえるウォーキング推進事業であり、町内事業所と連携して実施しています。

かねやま ステップジャンボ!!

金山町 × SEGA XD



①



②



③

①金山コネクタ羽場工場の外観
②ストレッチ体操 ③工場周辺の清掃活動

健康づくりに向けた取り組み

- ① 定期健康診断
- ② 特殊健康診断
- ③ 検診センターによる保健指導
- ④ ストレッチ体操 (午前・午後)
- ⑤ 年次有給休暇取得の推進
- ⑥ バランスの取れた食生活情報の展開

社長 かわしま 川島 悠児

当社の1日は各部門の朝礼から始まります。仕事の進捗確認だけではなく一人一人の顔色や仕草で体調を気に掛けることも重要視しています。ジャンボメイトは6,000歩、8,000歩と決めたマイルストーンにチャレンジし、その楽しさを職場で共有しています。生活リズムの中にゆとりある豊かな時間が入り、日常の彩が増しています。毎週、地域の野菜や趣向を凝らした賞品もあり、「明日も頑張ろう」という意欲に繋がっています。



KMCO

11

参加事業所からのメッセージ

金山コネクタ株式会社

健康づくりに向けた取り組み

教職員の健康づくりに向けた取り組みとして年1回の健康診断の実施のほか、夏季休暇や年次有給休暇の取得を推進しています。さらに、広い校舎内外の安全点検を兼ねて巡回するなど、日常業務の中に「歩く」機会を積極的に創り出しています。

校長 あじき 安食 秀一

本校が掲げる「心身ともにたくましい生徒の育成」は、まず我々教職員自身の健康があつてこそ実現できるものです。この「ステップジャンボ」は、楽しみながら健康づくりに挑戦できる素晴らしい取り組みであり、生徒たちの良き手本となる絶好の機会と考え、参加を決めました。多忙な毎日ですが、心身のリフレッシュと職場の一体感向上にも繋がると期待しています。教職員一人ひとりが生き生きと輝くことが、生徒へのより良い教育に繋がると信じています。



②



③

①②金山中学校の外観
③グラウンドで行われた体育祭の様子

広報かねやま

KANEYAMA

October
10
2025
No.754

10月行事予定表

1 (水)	すこやか相談
3 (金)	子宮頸がん・乳がん検診 まちおこし塾
4 (土)	第15回めごたま大運動会 まちおこし塾 プレベビーマッサージ
5 (日)	かねやまを歩こう
6 (月)	心配ごと相談
7 (火)	乳児健診
8 (水)	読み聞かせ・お話会
9 (木)	人間ドック・総合健診
11 (土)	ジムコミ1周年記念祭
12 (日)	金山町産業まつり
14 (火)	1歳児・2歳児歯科健診
15 (水)	心配ごと相談 すこやか相談
16 (木)	離乳食講座
17 (金)	まちおこし塾
18 (土)	無料リサイクル回収 まちおこし塾
21 (火)	人間ドック・総合健診
24 (金)	健診結果説明会
26 (日)	カムロトレイルランニング2025 とこみどりCUP
27 (月)	心の健康相談 心配ごと相談 農業委員会総会
30 (木)	5歳児健診 ベビーマッサージ・ママケア教室

10/11-10/20 全国地域安全運動

今月の表紙

9月6日、神室音楽祭で最後のステージを飾ったTOTALFAT。スタンディングゾーンは県内外から駆けつけたファンでいっぱいになり、大きな歓声と熱気に包まれました。会場は音楽祭を心から楽しむ観客の笑顔であふれ、感動の幕をおろしました。
※RING OUT,KAMUON!...神音よ、鳴り響け!

目次

- P3 ステップジャンボ
- P4 KAMU'ON 2025
- P6 決算報告
- P10 わたしと金山
- P12 まちのわだい
- P14 町政NEWS
- P16 お知らせ掲示板
- P18 図書室だより・地域おこし協力隊通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P20 かねやま未来図

副町長室から

語り継ぐことの大切さ

副町長 小関 啓幹



今夏、猛暑が続いた一方、線状降水帯による大雨などで、全国各地で浸水被害や土砂災害が頻発しました。被災地の皆様には改めてお見舞いを申し上げます。当町においても、過去、4から5年に1回程度の割合で洪水が発生してきたと「金山町史」に記されています。昭和50年の県北豪雨以降、神室ダム整備などの備えも進みましたが、昨年7月の豪雨災害などもあるように、油断することはできません。内閣府の世論調査(令和4年9月)では、「ここ1～2年の間に自然災害について家族や身近な人と話し合ったことがある人」は61.4%にとどまり、「防災訓練に参加したことがある」と答えた人はさらに少なく43.6%となっています。当町では今年度の防災訓練参加率は約5割強と若干高いものの、これでも十分とは言えません。防災知識はメディア等からいくらかでも得られる時代ですが、いかに「ひとごと」とせず「わがこと」として捉えられるかーこの「危機意識」が災害時の判断・行動を左右します。私自身、県庁で危機管理課在籍時、危機意識を高めることの難しさを強く感じていましたが、災害を実体験できない以上、身近な人から体験談を聞くことが意識向上の大変有力な手段であると考えています。「おわちゃっこいどき、ほごまで水が上がってきたんよ」「あんどぎ道路くずって、こご通らんなくて、ぐるっと回んねんねがったんよ」例えばお孫さんとかわすこんなやりとりが、身を守る「命綱」となっていくのではないのでしょうか。「防災の秋」、身近な方々に「地域の知恵」を語り継いでいっていただきたいと強く願います。

KAMU'ON 2025

轟け！神音

カムオン 夏の終わり。「神音」の始まり。

9月6日、グリーンバレー神室スキー場特設会場で神室音楽祭 (KAMU'ON 2025) が開催されました。昨年は大雨の影響で初の開催が叶いませんでしたが、今年は天候にも恵まれ、会場は県内外から訪れた家族連れやファンなど、約650名の来場者で賑わいました。音楽祭には「TOTALFAT」や「THE BOHEMIANS」をはじめ、著名アーティスト8組が出演し、圧巻のパフォーマンスで観客を熱狂させました。



◀ 詳細はこちらを
チェック

決算報告

令和6年度

■主な歳入

収入の約45%を占める地方交付税のうち普通交付税は、22億686万円(前年度比7,072万円増)と過去最大の交付額となりました。また、特別交付税は7月豪雨災害分が措置され、前年度比1,703万円増の3億2,568万円が交付されました。

■主な歳出

防災情報配信システム整備事業では、希望する全世帯にタブレット端末を貸与。1億4,853万円が皆増となりました。町制施行100周年記念事業は、記念式典企画運営委託料や記念誌制作委託料により3,033万円の増加。さらに物価高騰対策として、町民応援商品券配布事業4,777万円を実施しました。

■決算の特徴と

財政運営の見通し

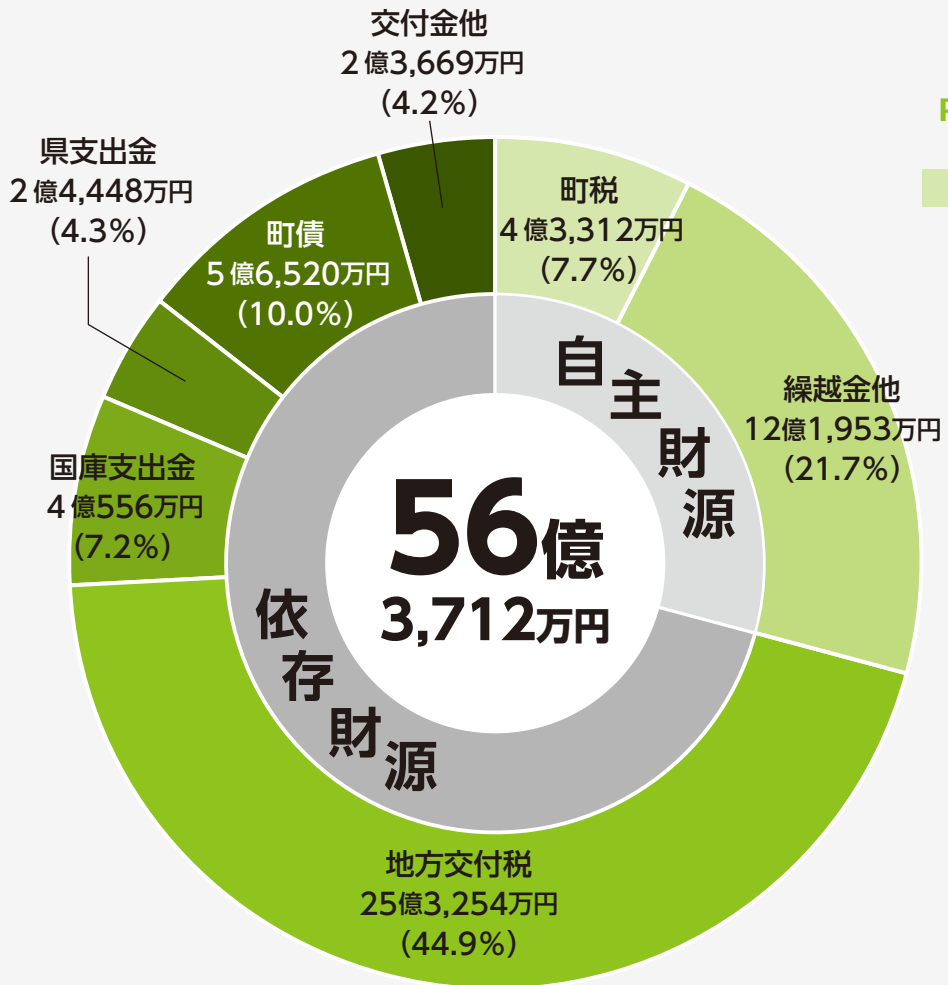
6年度は一般会計において3億590万円の実質収支「黒字」を確保しました。喫緊の課題である物価高騰対策等を講じながら、「**財政健全化**」を着実に前進させることができました。基金(町の貯金)は25億円超を維持。町債(町の借金)は増加しましたが、将来を見据えた事業へ投資したためです。経常的な経費に自由に使える収入が使われている割合を示す経常収支比率は92・8%。人件費の上昇等による影響はあるものの、継続的な事業見直しによる物件費の抑制による効果もあり、最小限の上昇にとどまっています。

一方、経常経費が過大である財政体質は根本的に変わっていません。町立診療所運営やグリーンバレー神室一帯の運営についても経常経費抑制のため、引き続きの収益確保に向けた検討が必要です。今後もメリハリのある事業見直しを継続しながら、築いてきた財政基盤をもとに、**町民のニーズやこれからの町の姿を見据えた事業にしっかりと投資をしていきたい**と考えています。

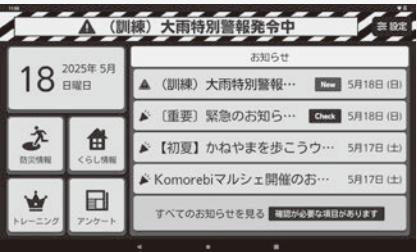
POINT 一般会計 01 歳入

ふるさと寄附が昨年度比2.4倍の3億円超

歳入は、昨年度比6億1,887万円的大幅増加。定額減税により町税が2,346万円減少した一方、返礼品の充実等により個人版ふるさと寄附が1億8,592万円の増加と昨年度比2・4倍。また、防災情報配信システム整備事業等の大規模事業に地方債を充てたことから、町債は2億3,580万円と増加しました。



- 町税** … 町民の皆さんが町に納めるお金。町民税・固定資産税・軽自動車税など
- 繰越金他** … ここでは繰越金の他、繰入金、分担金及び負担金、使用料、寄付金などのこと
- 地方交付税** … どの市町村でも一定のサービスを行えるように国から交付されるお金
- 国庫・県支出金** … 町が行う事業に対し、必要に応じて国や県から交付されるお金
- 町債** … 財政負担の平準化や世代間負担の公平性を保つため国などから借りたお金
- 交付金他** … 地方消費税交付金や地方特例交付金など町の規模に応じて交付されるお金(地方譲与税を含む)



【防災情報配信システム整備事業】



【7月豪雨に係る災害復旧事業】

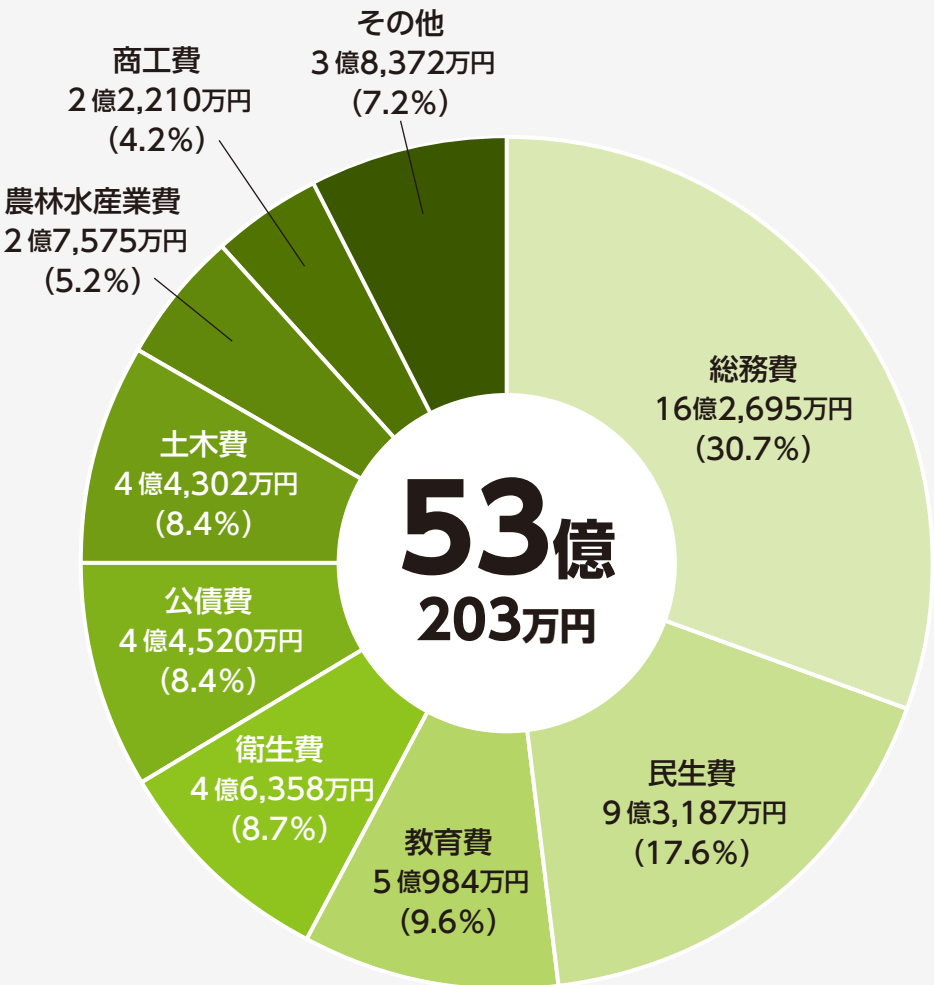


【町制施行100周年記念事業】

POINT 一般会計 02 歳出

災害復旧事業費等が大幅増加

歳出は、昨年度比6億227万円的大幅増加。非常用電源装置設置事業や役場第2庁舎整備事業等により総務費が3億7千万円超の増加となりました。また、町制施行100周年記念事業が3,033万円の増加、7月豪雨災害に係る復旧事業費として、7,713万円が増加するなど、臨時的な増加要因も多くみられました。



- 総務費** … 総務管理、企画調整、地域振興、税務事務などに使われた費用
- 民生費** … 高齢者や障がい者、児童の福祉サービスの提供などに使われた費用
- 教育費** … 学校などの管理運営や施設整備、生涯学習の推進に使われた費用
- 衛生費** … 町民の健康増進やごみの処理などに使われた費用
- 土木費** … 道路橋りょうや公共施設の整備、維持管理などに使われた費用
- 商工費** … 町の商工業支援や観光振興に使われた費用
- 公債費** … 町の借入金の返済に使われた費用
- 農林水産業費** … 農業、林業、畜産業の振興などに使われた費用
- その他** … ここでは議会費、労働費、消防費、災害復旧費のこと

■令和6年度の主要事業

事業名	金額	内容
防災情報配信システム整備事業	1億4,853万円	情報配信システムやタブレット端末の整備
令和6年7月豪雨に係る災害復旧事業	7,713万円	道路、小学校施設、農地等に係る復旧事業
定額減税に伴う調整給付金等	7,052万円	国の制度により住民税非課税世帯等に物価高支援
ロータリ除雪車(1号車)更新事業	5,589万円	老朽化したロータリ除雪車の更新
町制施行100周年記念事業	3,367万円	記念式典の運営や記念誌、記念映像の制作等

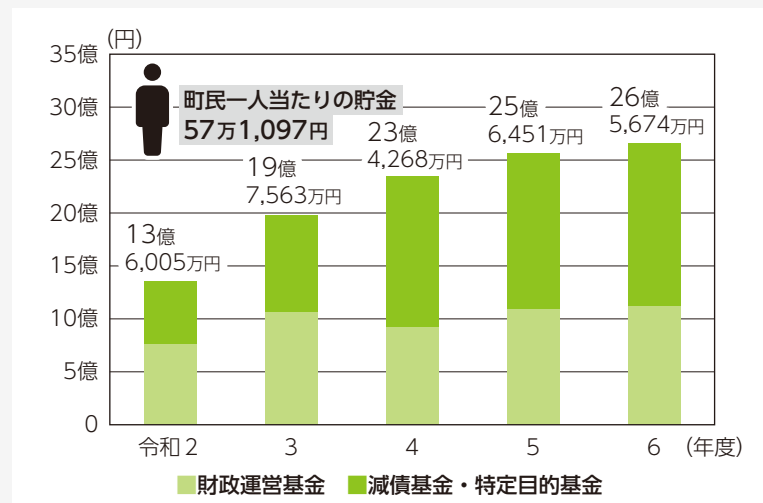
POINT 町の貯金

05 基金

基金とは、町の「貯金」のこと。6年度は見込以上に交付された地方交付税等を積み増したことから、残高を伸ばしました。事業見直しの効果もあり、順調に残高を確保していますが、今後の重要事業のため、かねやま応援基金等は取崩す予定です。

災害時など臨時の出費にも対応できる弾力性のある財政運営には、余裕をもった基金積立が不可欠。今後も適正な基金残高確保に努めます。

●基金残高の推移（定額運用基金を除く一般会計）

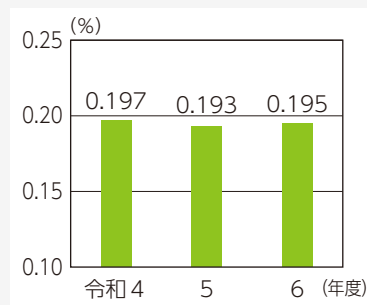


POINT

06 財政指標

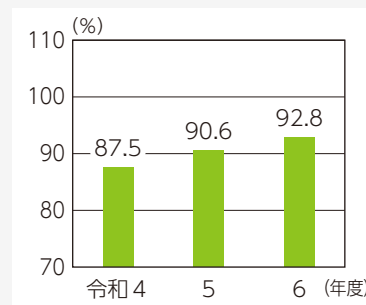
指標 01 【▲】 財政力指数
自前の収入でやりくりできるか

必要な経費を自主財源で賄える割合が低いことが分かります。町民税や固定資産税等の町税収入が少ないことが主な要因です。県内町村平均は0.26となっています。



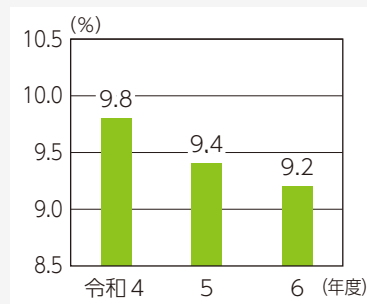
指標 02 【▲】 経常収支比率
自由に使えるお金がどの程度あるか

人件費など経常経費の増加を受け、昨年度+2.2%。普通交付税が高い水準にあるため、比率の大幅な上昇は抑制できていますが、経常経費の動向は要注意です。



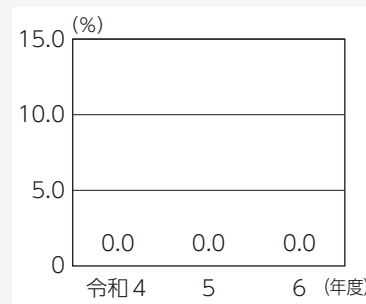
指標 03 【○】 実質公債費比率
借金返済が財政を圧迫していないか

大型事業の見直し等により地方債発行を抑制していることから、元利償還金が平準化されており、近年の数値は低水準で安定しています。



指標 04 【○】 将来負担比率
将来世代にツケを先延ばししていないか

着実な基金残高積み上げの効果が表れています。現時点で、借金等の将来負担を基金等の資産でカバーできるとして、将来負担比率は3年連続のゼロとなりました。



6年度決算における健全化判断比率は、実質公債費比率が改善した一方、経常収支比率が上昇しました。実質赤字比率、連結実質赤字比率は、対象となる全ての会計で実質赤字はなく、各特別会計とも資金不足はありません。これらの改善は、見直しによる事業の縮小や施設の統合など、町民の皆さんのご理解・ご協力あつての成果です。7年度以降は複数の大規模建設事業等を予定しており、引き続き計画的で適正な財政運営に努めていきます。

POINT

03 特別会計

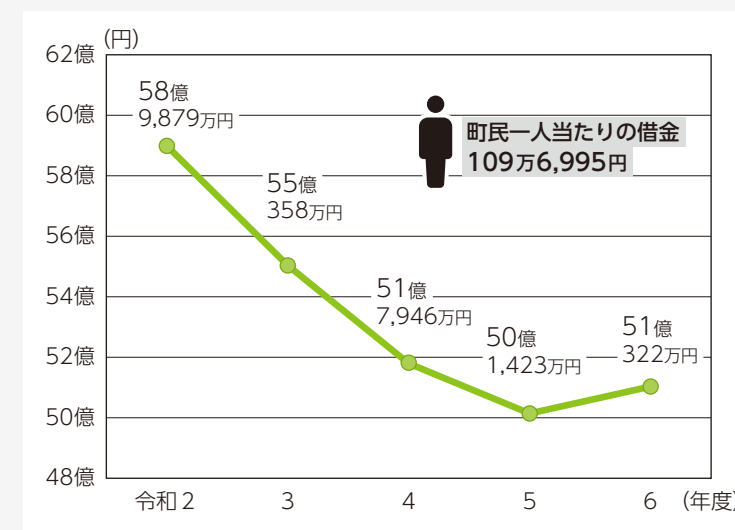
特別会計とは、特定の事業を実施する会計で、その収支を明確にするために設置するものです。

国民健康保険会計直診勘定は、金山診療所の運営に係る会計。6年度より新型コロナウイルスワクチンについて高齢者が定期接種（B類疾病）となったため、接種受託料が1,297万円の減少となりました。一方で、5年度に引き続き、町内民間クリニックの閉院により特別調整交付金1,474万円を収入。一般会計からの繰入金は8,275万円（前年度比+2,089万円）と上昇を抑制できました。歳出では、医療施設等設備整備費補助金を活用して、内視鏡システム関連備品等956万円を整備しました。

介護保険会計は、健康づくり事業や介護予防事業への取り組みの成果等により、介護給付費が減少傾向にあります。高齢者が元気に自立した生活が送れるよう、今後も継続して取り組んでいきます。7,345万円の繰越額は、給付費が想定よりも減額したことから、7年度に国等へ負担金を返還するための財源です。

会 計 区 分		歳 入	歳 出	7年度への繰越額
国民健康保険会計（直診）：診療所		2億2,542万円	2億1,090万円	1,452万円
介護保険会計		7億6,173万円	6億8,828万円	7,345万円
後期高齢者医療会計		8,067万円	8,018万円	49万円
水道事業会計 ※税抜き額	収益的	1億9,216万円	1億8,268万円	948万円
	資本的	1億 400万円	1億5,620万円	▲5,220万円
下水道事業会計 ※税抜き額	収益的	2億1,476万円	2億 456万円	1,020万円
	資本的	1億 574万円	1億5,184万円	▲4,610万円

●地方債残高の推移（全会計）



POINT 町の借金

04 地方債

地方債は、いわば「借金」の金額。多世代で利用する社会資本を公平に負担する役割も担っています。一般会計の6年度末残高は37億2,098万円。近年は事業見直し等により発行額を抑制していましたが、防災情報配信システム整備事業等の実施により、残高は増加に転じています。

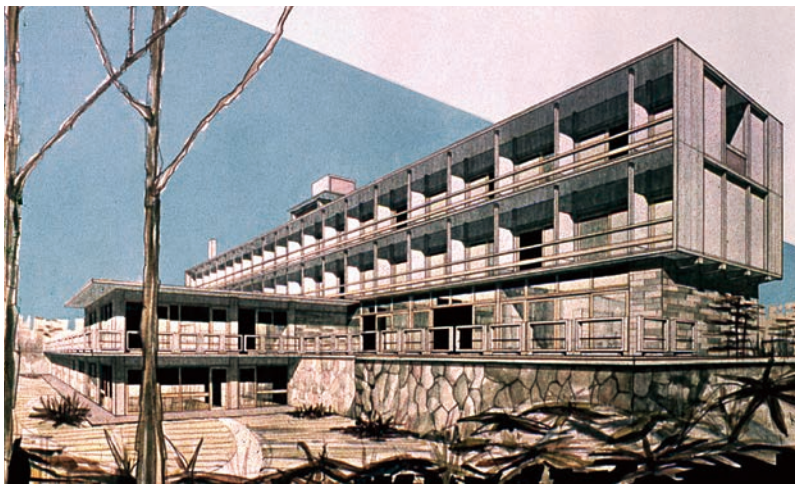
適切な地方債発行は住民サービスの充実につながります。返済時に国の補助がある過疎対策事業債など、有利な地方債を活用して、計画的に事業を実施していきます。

「わたしと金山」

No.30

林 寛治

「金山町は世界の中心!?」
見て・感じて・考える」



▲藝大1年最初の課題 国際文化会館パース 1957年 課題透視図・林寛治



▲建築家ラフエンテ氏と経営者レベッキニーニ氏 1963年 右奥は林席



▲マルチェッロ劇場 (Teatro di Marcello) Bc 13. SNS図から

私は昭和30年に高校を卒業して、3度目の受験で運よく東京藝術大学建築科に入学しました。藝大建築の前身である東京美術学校の建築科は大正12年に図案科（現在のデザイン科）から独立しました。欧米と異なり、日本の建築教育は工学部が中心であって、美術系大学による建築教育は昭和40年頃まで藝大以外にはありませんでした。建築士資格の要件として定められていますから、構造・設備各専門の客員教授による授業はありますが、設計デザインを中心に、入学早々から設計実技・専門科目・一般教養科目が同時にスタートする点で、超多忙ながら魅力的な学生生活でした。

イタリアに行くことを志したのは、戦前戦後の欧米映画で見る人や都市、風景への憧れがあったからです。偶然大学3年時に吉田五十八教授が外務省から在ローマ「日本文化会館」の設計委託を受けたと聞き、吉田研究室諸先輩の応援と助言を受けて、現場見習いという口実で旅券を発給してもらいました。

卒業5か月目の8月末に離日。アラスカ経由でコペンハーゲン、アムステルダム、パリと各都市で1、2泊しながら、9月はじめにローマのレオナルド・ダ・ヴィンチ空港に降りたちました。渡航手続きに骨折って頂いた佐々木嘉夫先輩と、一足先に吉田研究室から派遣された野村加根夫先輩が出迎えてくれ、ひとまず野村氏の寄宿ホテルに同宿しながらのローマ生活が始まりました。佐々木氏から「はじめの1、2か月は市内を巡り歩いたらどうか」との助言をいただき、午前中は身元引受人ボジターノ氏 (Arch.G.Positano) の事務所に通い、午後からは市内中心部を歩き回りました。当時のローマでは13時から

一帯はムッソリーニ政権のもとで開発され、昭和35年のローマ五輪メイン会場となったフォロ・イタリアコという総合運動施設ゾーンでした。サブグランド付きのスタジアムや野外プールも至近にあり、次の五輪を控えていた日本からの訪問客が来た時にはよく泳ぎに案内しました。

昭和36年初めに、日本人画家夫妻の紹介でスペイン人建築家フリオ・ラフエンテ氏 (Arch.Julio Lafente) と知り合ったのは幸運でした。学生時代に購読したdomus誌で気に入って見ていた「トラスティヴェレ大通りの共同住宅」の設計者だったからです。彼はボルドーの美術学校を卒業してからローマに移り、多くの著名な建築家に協力を求められるような立場で、当時は建築技術者であるガエタノ・レベッキニーニ氏 (Ing.Gaetano Rbecchini) が経営する事務所の協働建築家でした。両氏を訪ねて働かせてもらう事が出来ました。ただし午前中は日本大使館で筆耕のアルバイトをしていたので午後のみ勤務することになりました。ローマの中心部にマルチェッロ劇場という紀元前13年建立の古代ローマ劇場遺跡があるのですが、その観覧席構造体を利用して16世紀に建てられた館の一部が彼らの事務所でした。私の仕事はラフエンテ氏が描く流麗かつ力強いスケッチを清書して図面化する作業で、楽しくも非常に勉強になりました。

昭和41年5月にローマのレ事務所を退職して、帰国前の課題として計画していた北欧視察を実行しました。大学同期の日本画家である村松秀太郎を誘って日本から呼びよせ、買ったばかりのVWビートルにキャンプ道具をのせ、6月末にローマを発って北上しました。

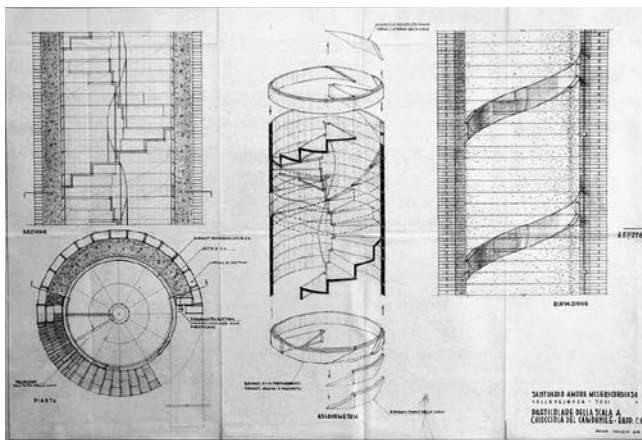
16時までシエスタという昼休みの習慣があつて、勤め人もいったん帰宅。昼食をして軽く昼寝もできたのです。この時間帯、パイル (Pila) 以外の店は閉じられて、シーンとした街なみになるのです。

到着後一か月ほどして、国際学生会館への入居が叶いました。当時日本からのイタリア政府の留学生定員は6人位。若い音楽家、舞踊家を除けば、美術・文学・法律・医学など大学院を出た助手クラスで30歳位の方々でした。国際学生会館は空港と同様、前年の五輪に合わせて新築された二階建て施設で、共同シャワー・トイレと三食付きの個室で月2万円位でしたから、イタリア政府の留学生に対する熱意と力を感じました。セルフサービスの大食堂とゆつたりとしたサロンや講堂もあり、別棟に短期旅行者の学生や団体の宿泊が可能になっていました。世界中からの留学生が150人位。各国の友人たちと知り合うにはこきまませんでした。彼らと話している一番感じたことは、自分の生まれた町がたかかも世界の中心であるかのように話すことで、特に統一が遅かったイタリア人ならではの強い郷土愛を感じました。国際学生会館の周辺

ミュンヘン・ニュルンベルクから当時の東独領を通過してベルリンに5日ほど滞在、東ベルリンにも日帰り訪問、西に向かって東独領を出たところがVWの本拠地 فولクスブルグ、ここから北上してデンマークに渡り、コペンハーゲンではアルネ・ヤコブセンの建築を見て回りました。スウェーデンを経てフェリーでフィンランドに渡ったのは7月末だったと思います。各国共にオートキャンプ施設が完備されていて全く快適な旅でした。私にとっての北欧ハイライトはフィンランドで巨匠アルヴァ・アアルトの建築を見てまわることであり、村松にとってはオスロと、ストックホルムでエドワルト・ムンクの画を鑑賞することでしたが、双方それぞれに期待以上の感動を得たものです。

旅行を終えてローマに戻り、帰国整理をした後で、今度は11月からギリシャ経由でトルコに行きました。ローマでの友人、都市計画家ハルク・アラタンがアンカラからイスタンブールまで出迎えに来てくれて二年ぶりの再会となりました。彼が参加するコンペ（設計競技）をちょっと手伝うなどしつつ、準備してもらったアンカラの広いアパートで昭和42年を迎え、愛車のVWをイスタンブールから日本に送り出し、私も5年8か月ぶりに帰国したのです。

帰国後は古村順三設計事務所にて7年間の徒弟時代を経て独立し、やがて金山町の仕事に携わるようになります。金山で関わった仕事の成り立ちとその背景などを金山人50%の立場で皆さんとの交流を意識しつつ、この場をお借りして記してきました。過去5年間読んでいただきありがとうございます。



Collevaleza巡礼者教会の鐘楼と

その階段詳細図 1963年 作図 林

Studio Ing.G.Rbecchini+Arch.J.Lafente 1964年▶

Studio Rbecchiniにて 1964年▼

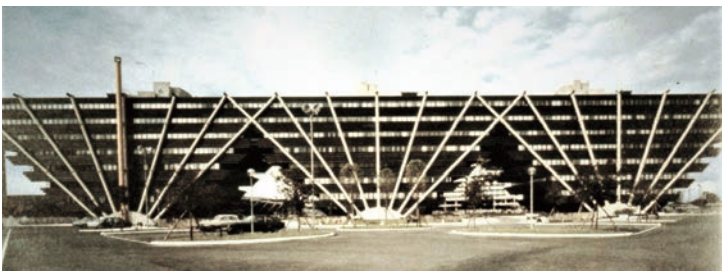


◀Trastevere大通りの共同住宅

Studio Ing.G.Rbecchini+Arch.J.Lafente 1957年

ESSO ROMA事務棟

Studio Ing.G.Rbecchini+Arch.J.Lafente 1980年▼



金山町と上山市を結ぶ チャリティー駅伝80kmを完走

8 月31日、童スポーツクラブが金山町中央公民館をスタートし、ゴールの上山市リナワールドを目指してチャリティー駅伝を行いました。参加者31名の小中高生が指導スタッフのサポートや保護者の声援を受けながら約80kmの道のりを走りきり、クラブ員や保護者からご協力いただいた16,654円を募金してきました。この活動は、童スポーツクラブ20周年記念事業として平成21年から行っており、今年で16年目の開催となりました。



金山町総合防災訓練を開催 災害時の対応を再確認

9 月7日、大地震を想定した避難訓練が全町一斉に開催されました。また、同日に金山町総合防災訓練が東郷地域で開催され、金山町消防団員による土のうを用いた水防訓練が実施された他、東郷地域自主防災会による避難所開設運営訓練や炊き出し訓練、応急手当講習などが旧明安小学校で実施されました。会場には地区の消防団員の他、関係者約120名が来場し、簡易トイレやベッドの設置、避難者の受付など、災害時の対応方法について理解を深めました。



中学生が曲作りに挑戦 町の音を使った金山町の曲

8 月28日、金山中学校でスピンオフ映像の3回目の撮影が行われました。3回目の授業では7月に中学生が収録した「町の音」を使い、曲の制作にチャレンジしました。前々回の授業で「りゅう」の歌詞から連想した情景や風景を思い出しながら、それぞれの「りゅう」の形を表現。授業に参加した生徒は「金山町はあたたかい音に溢れていると感じた」「金山を深く知れて、もっと曲を作りたいと思った」など多くの感想があげられた他、やまがたふるさとCM大賞の応募に向けた撮影が行われました。



金山町福寿会を開催 これからも元気で長生きしてください

令和7年度 金山町長寿番付			
氏名	地区	年齢	
五十嵐 スチエ	荒屋	103	
矢口 勝義	宮	103	
伊藤 チヨノ	朴山	101	
佐藤 ナミ	三枝	101	
半田 エイ子	上台	100	
高橋 ヒデヨ	羽場	99	
柿崎 カツエ	上中田	98	
山口 イク	荒屋	98	
沼澤 ワカコ	片貝	98	
柴田 昭子	稲沢	98	
栗田 ユワ子	荒屋	98	
佐藤 幸次郎	羽場	98	
佐藤 ヨシエ	荒屋	98	
藤山 喜光	稲沢	98	
小沼 テツヨ	荒屋	98	
丹 艶子	荒屋	97	
柿崎 孝子	下中田	97	
大場 良子	荒屋	97	

※敬称略
※生年月日順
※令和7年9月10日現在の年齢
※令和7年12月31日までに年齢が98歳となる方を掲載

まちの わだい

身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

9 月14日、農村環境改善センターで多年にわたり社会に尽くされたご長寿の皆さんを敬愛し令和7年度福寿会を開催しました。今年も昨年に引き続き町制施行100周年にあわせ、喜寿・米寿に加え、白寿の方々を対象に「賀詞等贈呈式」を実施。そのほか、結婚50年の金婚を迎えられたご夫婦に対して町から賀詞、山形新聞社からレリーフが贈呈されました。町の70歳以上の方は、男性632人、女性806人で 合計1,438人(令和7年9月1日時点)。その中で今年度、喜寿を迎えられた方は97人、米寿が48人、白寿が10人でした。これからも健康に留意され、元氣にお過ごしください。



60名が集う地域交流イベント 西郷地域モリアゲマルシェ



▲マルシェに参加された住民の皆さん

8月10日、板橋地区公民館で地域モリアゲマルシェ補助金を活用した西郷地域モリアゲマルシェが開催されました。実行委員長の高橋久男さん(板橋区長)を中心に、物販や多世代交流を目的とした交流会が開催され、約60名が参加しました。イベントに参加された高橋とみ子さん(板橋)は、「近所に誰が住んでいるかなど、地域の人の顔が見える良い機会。続けていってほしい」と感想を述べました。

8月分ジャンボ賞当選 柿崎洋一さんがコードレス掃除機を獲得



▲柿崎洋一さん(中央)と株式会社メーカーの皆さん

かねやまステップジャンボ事業8月分ジャンボ賞に、株式会社メーカーの柿崎洋一さん(七日町)が当選し、コードレス掃除機を獲得しました。柿崎さんは「これまでクオカードなどが7回以上当選しました。当選確率が高く毎日6,000歩以上歩く意識づけになっています。町民の皆さんもぜひ健康づくりのため歩く事を意識して、ジムコミのフィットネスジムもご活用いただけたら嬉しいです」と喜びを語りました。

下向地区の地道な取り組みが評価 道路功労者表彰を受賞



▲平山直人建設部長(左)、矢口卯之助さん(右)

8月28日、最上総合支庁建設部長室で令和7年度道路功労者表彰伝達式が開催され、下向地区が表彰されました。下向地区は平成19年から18年間、マイロードサポーターとして道路の清掃や除草、草刈、植栽を行い、快適な道路環境の保全に寄与し、永年の活動が高く評価されました。伝達式に出席された矢口卯之助さん(下向区長)は「これまでの地区の努力が評価されて嬉しい。今後も一層力を入れて頑張っていきたい」と思いを語りました。

二十歳を迎えた皆さんからの温かな贈り物 金山小学校へ絵本や漫画を贈呈



▲前列中央栗田七虹さん、樋渡基樹さん

8月21日、今年度二十歳を迎えた栗田七虹さんと樋渡基樹さんが、二十歳を祝う会実行委員会を代表し金山小学校に記念品を贈呈しました。二十歳を迎えられた皆さんから金山小学校に贈られたのは絵本や漫画など計24冊。栗田さんは「直接子供たちに寄贈し、喜ぶ顔が見られて嬉しかった。子供たちに絵本や漫画をたくさん読んで楽しんでもらいたい」と笑顔で話してくれました。

(有)星輪・東北電化工業(株)・(株)大地建設 企業連携で地域貢献



8月2日、町役場庁舎の非常用電源設備設置工事を受注している東北電化工業(株)と(有)星輪と協力会社の(株)大地建設の社員20名が町内約30箇所のカーブミラー清掃と町内道路のゴミ拾い作業をボランティアで行いました。活動に参加された長谷部凌司さん(柳原)は「カーブミラー清掃は約20年前から続けています。今年度も交通安全の一環として地域の皆さんが安全に暮らせるように清掃活動を行いました」と述べました。

地域の記憶を継ぐ 第2回上台の歴史を語る会



▲阿部一さん(前列右から4番目)と佐藤英司町長(前列右から3番目)

8月31日、上台地区公民館で第2回上台の歴史を語る会が開催され、地区住民36名が参加しました。語る会は町制施行100周年を記念し、祖先への感謝の気持ちと次世代への継承を目的に、地区の文化部が主体となって開催。阿部一さん(上台)が執筆された「上台古老覚書」を参考に「上台村の生い立ち」や「上台地区の呼び名」、「上台村と羽州街道」など全10項目について約1時間半の講演が行われました。

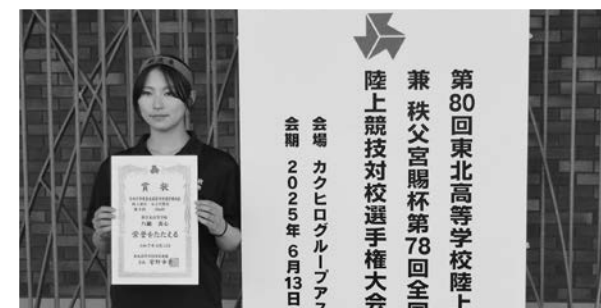
伊藤煌珂さん全日本大会出場 第25回全日本少年少女空手道選手権大会



▲全日本大会に出場した伊藤煌珂さん

8月24日、東京武道館(東京都足立区)で第25回全日本少年少女空手道選手権大会が開催され、金山小学校3年の伊藤煌珂さん(凝山)が小学3年生男子個人形に出場しました。惜しくも初戦敗退となりましたが、全国の舞台で貴重な経験を積み、今後のさらなる成長へとつながる一日となりました。今後の更なる活躍に期待しています。

八鍬真心さん女子やり投げ優勝 各種大会で優秀な成績を収める



▲新庄東高等学校3年の八鍬真心さん

6月13日から6月16日に新青森県総合運動公園陸上競技場(青森県)で第80回東北高等学校陸上競技大会が開催され、新庄東高等学校3年の八鍬真心さん(山崎)が女子やり投げで優勝、女子円盤投げで6位という好成績を収めました。八鍬選手は7月24日から7月29日に広島広域公園陸上競技場(広島県)で開催された、全国高等学校総合体育大会陸上競技大会にも出場しており、女子やり投げにおいて惜しくも予選敗退となりましたが、今後更なる躍進を期待しています。

教育長・教育委員に辞令を交付

教育長として、教育行政にご尽力いただきました須藤信一さん(檜台)が9月13日までの任期満了をもって退任されました。9月金山町議会定例会に、後任として鈴木英樹さん(七日町)の教育長任命について上程し、全員賛成で同意を得られましたので、9月14日に金山町教育委員会教育長として佐藤町長から辞令が交付されました。任期は令和10年9月13日までです。また、樋渡郁子教育委員は9月30日までの任期が終了し、同議会定例会において全員賛成で再任の同意が得られましたので、10月1日に辞令が交付されました。任期は令和11年9月30日までです。

就任のご挨拶



すずき ひでき
鈴木 英樹 教育長

このたび教育長を拝命いたしました鈴木英樹と申します。令和7年3月をもって教員を退職し、町教育委員会で教育指導員としてお世話になっておりました。教育行政についてはまだまだ不慣れな点が多い現状ですが、町民の皆様の付託にお応えできますよう努力して参ります。適時適育の理念のもと、未来の新たな学校像を実現し、子どもたちが輝く学校づくりを多くの方々のお力をお借りして目指して参ります。よろしくお願いします。

退任のご挨拶



すとう しんいち
須藤 信一 前教育長

2期6年間務めさせていただきました。小学校統合、コロナ対応、金山校県外生募集等の課題への対応を、職員はじめ保護者や地域の皆様と協力して取り組むことができました。町制100周年、金山小創立150周年等の節目の事業に取り組めたことも幸せなことでした。少子化を踏まえたこれからの取組が重要になってきます。「百年の誇りを胸に築くまち子らの笑顔に未来を託し」金山の未来を担う子どもたちのために、今後ともご協力をお願いします。

第5次総合発展計画の一部改訂について

令和3年3月に策定された第5次総合発展計画の一部を改訂しました。第5次総合発展計画は、まちづくりや政策に関する10年計画で、数年ごとに見直しを行っています。近年の人口減少や社会情勢の変化などにともない、金山町を取り巻く環境が変化していることから、町の未来を見据えて計画の一部見直しを行いました。一部改訂の主なポイント、新たに盛り込まれた内容は以下のとおりです。

- ▼かねやま未来ビジョン宣言の追加
- ▼重要業績評価指数(KPI)及び目標値の改訂
- ▼デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進の追加
- ▼官学民連携の健康づくりの推進の追加

【問合せ】 役場総合政策課 政策推進係 ☎29-5602

- ▼中期ビジョンと戦略の見直し
- ▼金山町人口ビジョンの見直し



◀詳しくは町公式HPをご確認ください

回答はお済みですか？国勢調査2025

5年に一度の国勢調査が実施されています。国勢調査は、行政を進める上で最も基本となる人口や世帯数をはじめ、性別や年齢別などの人口の構造や世帯構成を明らかにするために行われる重要な統計調査です。回答は10月8日(水)までとなっていますので、必ず回答をお願いします。

回答はインターネットが簡単・便利

お手元に書類が届き次第、24時間いつでも回答可能です。スマートフォンからアクセスする場合、ログインIDやアクセスキーが自動で入力されるので、非常に便利です。

回答は
10/8(水)
まで

回答方法

- ① 調査員より配布された、「インターネット回答依頼書」表面のQRコードをスマホで読み取る。
- ② 「回答を始める」ボタンをクリックするとログインID、アクセスキーが自動入力されるので、案内に沿って回答する。
※所要時間は約5分～10分。ぜひインターネット回答をお願いします。
※統計調査について不明な点は下記までお問合せください。

【問合せ】 役場総合政策課 統計調査担当 ☎29-5602

山形県後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

広域連合では、後期高齢者医療制度の健全な運営を図るために、年度に1回「医療費のお知らせ」を発行し、被保険者のみなさまに医療費について確認いただいております。今年度は令和6年11月から令和7年10月診療分を発行いたします。お知らせは確定申告(医療費控除)をされる際に使用できますが、医療機関からの請求遅れ等により記載されていない分や令和7年11月及び12月診療分につきましては、別途「医療費控除の明細書」への記入が必要となりますので、医療機関から受け取った領収書は捨てずに保管されますようお願いいたします。

【対象】 山形県後期高齢者医療制度の被保険者

【発行期間】 令和8年1月下旬

【記載内容】 令和6年11月～令和7年10月診療分の医療機関の名称、医療費の総額など

【その他】 確定申告(医療費控除)の詳細については税務署または役場町民税務課 ☎29-5610にお問合せください。

【問合せ】 山形県後期高齢者医療広域連合 事業課給付係 ☎0237-84-7100

広報かねやまに広告を掲載しませんか？

【広告のサイズと広告料】

- ・縦42mm×横84mm 広告料(1回) 5,000円
- ・縦42mm×横171mm 広告料(1回) 10,000円

【問合せ】 総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

濁酒製造について

酒類を製造するには、酒税法に基づく免許が必要です。このことは、「濁酒特区」に認定された新庄市、舟形町、最上町、真室川町などにおいても同様です。自ら消費する目的で製造することも許されません。製造免許を受けずに酒類を製造した場合には処罰の対象となります。また、免許を受けずに製造された酒類を譲り受け、所持した方も同様に処罰の対象となります。

☎0231-62218743
山形税務署・酒類指導官



東京金山会通信 No.78



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

「かねやま市」近況報告 ～ふるさとの味をもっと多くの方へ～

▶玉こんにやくとラムネの販売ブース



「かねやま市」は、毎月第4土曜日に開催しています。2月から販売をはじめた山形名物「玉こんにやく」。地元のマルジュウ醤油とスルメ出汁でじっくり味付けし、毎回リピーターの方からご好評をいただいています。特にお子様連れのご家族には大変人気で、大量にお買い求めいただくお客様もいらっしゃいます。夏季は例年、来場者がやや少なくなる傾向がありますが、今年は夏祭りの定番「ラムネ」の販売を新たにスタートし、連日の猛暑の中、涼を感じられる一品として、

近隣のお子様連れのお客様にも足をとめていただき、ご好評をいただきました。これから暑さが和らぎ、冬に向けて来訪者が増えるシーズンとなります。定番の「焼き豆腐」や「ごぼうたたき」に加え、干し柿や厚揚げなど冬ならではの商品も取り揃え、より多くの皆さまをお迎えできるよう準備を進めてまいります。今後ともより多くの皆さまに楽しんでいただけるよう、準備や商品構成など運営面でも工夫を重ねてゆくとともに、「ふるさと金山町」の魅力をしつかりPRしてまいりますので引き続きご支援・ご来場を心よりお待ちしております。



◀金山産品を揃えた「かねやま市」の様子

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail : fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇三回

風に揺る林の中の夏薊
山車五台囃子の調子もそれぞれに

阿部 一代

階に萩の咲き初む寺参り
少しずつ形整ふほうき草

星川 キエ子

バス停に日傘を杖に立ち話
じやがたらの花一面に咲き揺れて

岸 昭子

朝顔の折目正しく咲き揃う
藍ゆかた娘が袖通す舞の輪

高橋 洋子

帰省子の大的字に寝る青畳
熱帯夜羊一匹群れ乱す

鶴沼 よし子

稲架懸けも過疎なる里の風物詩
鳥飛んで秋ひたひたと石置

栗田 弥超

かねやま紅風会

ふと夫を思い出すなり星月夜
生かされてゐる幸せの墓洗う
数え見る老いの早さや秋彼岸

荒屋 阿部 勝子

身心も洗われ帰る秋の旅
早秋の思い出深き蚶満寺
冷え立ちて嫁に喰わすな秋茄子

荒屋 関 喜美子

墓参り時の流れを感じつつ
送り火や願ふ合掌送り盆
西瓜割り客をもてなす秋彼岸

菅越 庄司 けみ子

過ぎりし日々は花火にさも似たり
月日とは果なきものよ夏惜しむ
夫逝きて胸すり抜ける秋の風

七日町 青柳 キエ子

雷雲や夏の残暑を連れて去り
去り行くや日々の早さと虫の声
一人寝の慣れも寂しい秋の夜

上台 阿部 一步

森の子ども図書

No.237



うごきません。
作：大塚健太

「動かない鳥」のハシビロコウ。友だちのカバやヘビが来ても動きません。鼻がバナナのゾウや、うずまき模様のシマウマなどおかしな動物が次々やってきても…。でも、ハシビロコウにも感情はあるのです。相手の気持ちって、見た目では分からないのかもしれないかも。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※祝・盆・正月は休み



※() 内作者名

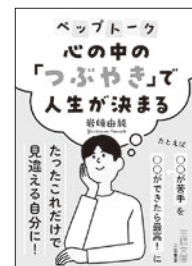
◀今月は8冊▶

新・教場2 (長岡弘樹) / 赤ずきん、イソップ童話で死体と出会う。(青柳碧人)
ペップトーク 心の中の「つぶやき」で人生が決まる (岩崎由純) / おかしのヒミツ研究所 (3時のおやつ科学機構)
二人一組になってください (木爾チレン) / いちばん! がわかる はじめてのくらべるずかん (沢井佳子)
しゅっぱつ! やさいごう (おだこうへい) / へんしんもいもい (市原淳)

図書室だより

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

ペップトーク心の中の「つぶやき」で人生が決まる
岩崎由純 / 三笠書房
ペップトークとは、スポーツ界で発展した、「短く、分かりやすく、心に響く、究極のショートスピーチ」のこと。普段、何気なく発している「つぶやき」をちょっと前向きに変えるだけ。今の気分から動き始めます。自信が生まれる、やる気が増してくる、集中力アップ!



おかしのヒミツ研究所
3時のおやつ科学機構 えほんの杜
ガリガリ君、きのこの山、ハイチュウなど、人気お菓子はどのように作られているのか、メーカーに直接取材! なぜあの食感? どうしてあの味? おかしのヒミツが明らかに! 食べるだけでなく、裏には科学がある。楽しく学べるイラスト図鑑。



体験のバイキングは神室で!

地域おこし協力隊 澤野 美香



◀日々の活動の様子はInstagramで発信中です



こんにちは、協力隊の澤野です。この秋から「最上地域観光協議会」「やまがた観光キャンペーン推進協議会」の支援を受けて、金山町の神室エリアで新しい観光の取り組みを始めます。その名も、「電動キックボード体験」です。実施期間は10月1日から雪が降るまで。神室キャンプサイトにご協力いただきながら、旅行者の方に気軽に楽しんでいただける移動アクティビティを提供します。台数は限られますが、ちょっとした冒険気分を味わいながら、神室の自然をめぐることが出来ます。キックボードはただの「移動手段」ではありません。風を感じて走る爽快感そのものが体験となり、歩くより遠く、車より近く自然を感じられる、不思議な乗り物です。これを使うことで、神室エリアに点在する体験やスポットがつながり、滞在の楽しさがぐっと広がります。まさに「移動そのものが観光コンテンツ」になる新しい形です。神室では、乗馬体験や管理釣り場、自然散策など多彩な楽しみが待っています。そこにキックボードが加わることで、まるで、体験のバイキングのようになり、自分だけの組み合わせで満喫できるようになります。町の



▶電動キックボード体験コースイメージ

皆さんには、道でキックボードを見かけたら「あ、旅行者さんだな」と思って温かく迎えていただけると嬉しいです。さらに声をかけたり、道案内をしていただければ、旅行者の心に残る素敵な交流になるはずです。安全にも十分配慮し、ヘルメット着用や交通ルールの徹底をお願いしながら運営します。地域の皆さんに安心して見守っていただけるよう努めてまいります。



祝祭日には   を掲げましょう

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

金山町町制施行100周年を迎え新たな一歩を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきましょう。



明るく穏やかな地域を目指して

檜台地区 区長 ^{まさの}正野 ^{りょういち}良一さん

令和4年度に町内の小学校が1校に統合し、明安地域唯一の小学校が閉校しました。スポーツ少年団などの活動で使用される事もなくなり、夜、明かりの灯らなくなった明安小学校から寂しさを感じていましたが、現在では3社の企業が事務所として活用し、徐々に活気を取り戻しています。特に旧明安小学校の体育館はフィットネスジムとして活用されており、夜遅くまで灯る明かりをみると明安地域の活気が戻ってきたように感じます。また、檜台地区の住民は、草刈りや河川清掃などの地域活動に積極的で、6月1日に行われた全町一斉クリーン作戦では、檜台地区23世帯、松の木地区20世帯が協力し、草刈りや道路清掃を実施しました。少子高齢化が進む中であっても、変わらない住民の皆様のご協力と支えに心から感謝しています。檜台地区も高齢化や独居世帯の増加が進んでいますが、これからも明るく穏やかな地域を目指し、共助の精神を大切にしていきます。

地区：46世帯 157名 ※令和7年8月末時点

「袋道」止まりの地区！

片貝地区 区長 ^{ぬまざわ}沼澤 ^{かつゆき}勝行さん

片貝地区は止まり地区になります。抜け道がなく、一つは柵沢ダム、もう一つは岩円地蔵で行き止まりです。町の観光名所の一つにもある岩円地蔵。毎年7月23日の前夜祭と24日の本祭りがあります。昔は今年のように日照りが続く町内外から雨乞いに訪れる人達が居たと聞いています。岩円に訪れる方々が安全に行けるように、雪解けの春一番には全戸で参道の除草作業を行っています。年々道幅も狭くなって来ているため、今後は町行政にもご協力を仰ぎながら地区一丸となり守って行くべきと思っています。しかし、我が地区も人口減少はとどまることなく、今年に入り7名の方が旅立たれました。そんな中でも地区行事や行政行事等へは皆さんこころよく引き受けてくださり感謝しています。今後も地区の皆さんと様々な行事などの継続をしつつ、事故や災害なく元気に平穏に過ごせることを願い頑張っていきたいと思っています。

地区：42世帯 131名 ※令和7年8月末時点



町公式
Instagramは
↓こちら↓



編集
後記

9月21日、
県内を中心に
撮影会イベン
トを開催している「山形カ
メラ小僧」と共催で「金山
フォトウォーク」を開催し、
県内外から40名以上の方
々に参加いただきました。
中には宮城県や岩手県など
県外から足を運んでくださ
った方もおり、他のカメラ
マンと交流を深めながら初
めて訪れた金山町での撮影
を楽しみました。ご参加い
ただいた皆さん、ご協力い
ただいた町民の皆さんあり
がとうございました。イベ
ントの様子は町公式イン
スタグラムをご覧ください。

金山町の人口は、**4,610人**（8月末現在）

 男性 2,277人（2）
 女性 2,333人（-8）
 世帯数 1,680世帯

▼8月の異動
出生 5人
死亡 9人
転入 5人
転出 7人